

農作物生育・技術情報5号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稻生育状況（7月15日現在 普及センター調査ほ）

●生育状況調査（平取町・日高町調査ほ 加重平均：中苗）

品種	区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	平年比 (日)	備 考
ななつぼし	R 8 年	64.6	10.7	640.9	+ 1	止葉期 7/14 (平年 7/15)
	平年値	66.8	10.5	581.5		
	差	-2.2	0.2	59.4		
ゆめぴりか	R 8 年	66.3	11.0	634.4	+ 1	止葉期 7/13 (平年 7/14)
	平年値	69.3	10.6	636.2		
	差	-3.0	0.4	-1.8		

★本年の生育は平年並に推移しています。冷害危険期の終了時期は全茎の8割の葉耳間長（止葉の付け根とその一枚下の葉の付け根の長さ）が+5cmになる時期です。

(1) 冷害危険期終了後の水管理

ア 危険期の終了は止葉が7～8割程度抽出を目安とし、終了を確認したら水深を下げ、以後は間断灌漑を実施します。

イ 好天が続くと見込まれる場合、必要に応じて、冷害危険期終了後～出穂始めに株元を固めるための中干しを行いましょう。この時期の中干しは、根の活力向上や落水後の表面水排除を容易にする等の効果があります。また、株元を固めるため、倒伏にも強くなります。

(2) 出穂開花後の水管理

開花・登熟には土壤水分が必要です。1株に1～2本程度出穂したら中干しを終了して入水し、以後は土壤水分の維持に努めてください。なお、特に深く入れる必要はありません。

(3) 病虫害対策

葉いもち発生予測（ブラスタム：7/10更新）では、近隣の門別および新冠新和アメダスで7/11～12に好適条件となっています。過去に発生したほ場、風当たりの少ないほ場を中心に発生予察を行い、必要に応じて防除を実施しましょう。

発生が見られない場合は、予察を継続するとともに計画的な防除に努めましょう。

2 畑 作

(1) 秋まき小麦

穂水分調査結果から、本年の成熟期（子実水分40%）は7月15日頃となっています（調査ほ場10筆平均：普及センター調べ）。ほ場により7日程の差が見られていますので、各ほ場の穂水分や天候等を確認し、適正な水分（子実水分30%以下）での収穫に努めましょう。

(2) ばれいしょ

引き続き疫病防除を徹底しましょう。開花後期は菌核病の発生に注意し、また高温が続くと軟腐病や夏疫病の発生も懸念されるため、効果のある薬剤を選定しましょう。

(3) 大豆

○ツメクサガ：葉の食害面積が20%を超えると減収や品質低下を招きます。発生状況をよく観察し、防除を実施しましょう。

○ウコンノメイガ：7月下旬頃から幼虫が葉巻を作り食害し、被害が大きいと小粒化や減収を招きます。葉巻症状がめだつほ場では浸透移行性のある薬剤で防除しましょう。

(4) 小豆

○アズキノメイガ：産卵最盛期（7月下旬～8月上旬頃）に1回目、発生が多い場合は1回目の7～10日後に2回目を実施しましょう。

○灰色かび病、菌核病：開花始め後7～10日目に1回目、その後10日おきに1～2回防除しましょう。

(5) てんさい（詳細は北糖の技術情報を参照ください）

○褐斑病：近年は高温多湿により初発が早い年が見られ、本年も初発時期や発生量に注意が必要です。特に連作や前年多発した隣接畑は注意し、防除間隔（おおむね14日以内）も意識し予防防除を徹底しましょう。

○シロオビノメイガ、ヨトウムシ：ガの飛来や食害が見られたらすぐに防除を実施しましょう。

3 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	・ 3～4月定植：3～6段果房収穫中 ・ 5月定植：2段果房収穫中 ・ 6月定植：4段花房開花 ＜病害虫・障害＞ ・ 灰色かび病が発生している ・ 軟果、ゴーストスポット果の発生が見られる	・ ベット内側の葉や老化葉を摘葉し通気性を良くする ・ 化学農薬で薬剤防除する ・ リーフカバー、遮光・遮熱資材を活用し、果実に直射日光を当てないようにする ・ ハウスを少しずつ開放し、急に温度を上げないようにする
ハウス軟白ねぎ	・ 3～4月定植作型収穫中 ・ アザミウマ類が一部で見られる	・ ハウス内外の除草を行う ・ アザミウマ類の防除を行う ・ 高温による葉先枯れを防ぐため、遮光ネット等を活用する。
アスパラガス (ハウス立茎)	・ 夏芽収穫中 ・ 斑点病の発生が一部で見られる	・ ハウス周辺の除草を行う ・ 斑点病の防除を行う
かぼちゃ	・ 一番果肥大期	・ うどんこ病、黒斑病の防除をする

4 飼料作物生育状況（7月15日現在 普及センター調査ほ）

作物名	生育状況				備考
	項目	R8年	平年	平年比 (日)	
牧草 (2番草)	草丈(cm)	26.0	31.0	－3	降雨により1番草の収穫作業が停滞気味なため、2番草の生育は平年よりやや遅い。
飼料用とうもろこし	草丈(cm)	196.5	187.2	－2	生育は平年並みであるが、沿岸部で7月1半旬の低温、2半旬の寡照により生育が停滞するなど、地域間差が見られる。
	葉数(葉)	13.6	14.2		

●牧草2番草の刈り取り時期

1番草刈り取り後、①チモシー主体草地で55日、②オーチャードグラス主体草地で45日を目安に刈り取りましょう。オーチャードグラス及びリードカナリー主体草地では、刈り取り時期が遅れると採食量の低下が著しいため、適期に刈り取りましょう。

●雑草防除

ギシギシ類は、開花後2週間程度で発芽能力のある種子を持つため、1番草刈り取り後、葉が展開する頃を目安に除草剤散布を行いましょう。